

常任委員会の動き

第1常任委員会

《平成23年7月19日開催》 報告及び審議事項

【総務部】

- 留萌市地域防災計画の見直しと津波ハザードマップの作成
- 平成23年度留萌市平和祈念事業の実施について
- 地デジ放送難視聴対象者に対する恒久対策について
- 財産の取得（除雪グレーダ）

【政策経営室】

- 平成23年度補正予算説明資料について

【産業建設部】

- 道営住宅建設計画の現状について
- 留萌市公営住宅長寿命化計画について
- 専決処分（市役所駐車場公用車事故）について

【教育委員会】

- 留萌市立小中学校適正配置計画について
- 平成23年度フッ化物洗口実施経過について
- 中韓子ども童話交流2011への潮静小学校の参加
- 平成22年度末の給食費の未納状況について

《平成23年8月25日開催》 報告及び審議事項

【総務部】

- 平成23年度防災訓練の実施について
- 専決処分（留萌市税条例等の一部改正）の報告

【政策経営室】

- 平成23年度交付税及び臨時財政対策債について
- 平成23年度留萌市地域おこし協力隊事業について
- 平成23年度市民アンケート、市政懇談会等の結果
- 第5次留萌市総合計画後期基本計画の策定について
- 平成22年度決算資料について

【産業建設部】

- 日本海側拠点港選定に向けた計画書の提出について
- 市営住宅の明渡し及び滞納家賃の支払を求める訴訟
- 市道見晴39号通り外2の災害復旧事業の進捗状況
- 留萌市住宅改修促進助成条例の制定について

【教育委員会】

- 留萌市立留萌小学校改築計画（案）について
- 平成24年度使用中学校用教科用図書決定について
- 留萌の鯉漁労用具及び旧留萌佐賀家漁場の一般公開
- 「まるごと るもい産 給食」の実施について

【各所管共通】

- 平成23年度9月補正予算について



《平成23年7月19日開催》 視察
エゾ鹿電木柵状況視察

第2常任委員会

《平成23年7月8日開催》 視察及び報告

- ＜るもい健康の駅視察＞
- るもい健康の駅の利用状況とるもいコホートピア事業について
- ＜市営墓地視察＞

【市民生活部】

- 美サイクル館最終処分場施設火災事故について
- ・火災日時 平成23年7月4日(月)最終処分場埋立エリア約200㎡で火災発生。遮水シートの一部損傷により使用不能のため、中間覆土し一時休止しているエリアに埋立箇所を変更して対応。復旧工事までの間、遮水シート損傷部分の法面部の保護及び雨水配水対策としてブルーシート布設と仮設防火タンクを設置。

《平成23年7月21日開催》 報告及び審議事項

【市民生活部】

- 専決処分の報告
- 第10回留萌地域公共交通活性化協議会の開催結果

【健康福祉部】

- 専決処分の報告
- 平成23年度補正予算（案）について
- 訴えの提起について（介護保険給付金に関する事件）

【市立病院】

- 平成23年度患者集計表について（6月分）

《平成23年8月22日開催》 報告及び審議事項

【政策経営室】

- 平成22年度主要施策に関する実績報告書について

【市民生活部】

- 平成23年度補正予算（案）について
- 平成23年第3回国民健康保険運営協議会の開催結果
- 平成23年度市営墓地の募集事務について
- 平成23年第2回留萌市上下水道事業運営委員会の開催結果
- 下水道整備に係るアンケート調査の実施について
- 平成23年度沖見配水場改修事業の執行状況

【健康福祉部】

- 平成23年度補正予算（案）について
- 平成23年度における子ども手当について

【市立病院】

- 平成23年度の経営状況（第一四半期）について
- 平成23年度患者集計表について（7月分）
- 患者一部負担金の未収金について



《平成23年8月29日開催》 視察
＜美サイクル館視察＞最終処分場施設火災発生現場

議会です こんにちは

もくじ

- P 12 平成23年第3回定例会議決事項
- P 13 常任委員会の動き
- P 14~16 第3回定例会一般質問項目
- P 17 留萌消防組合議会
留萌南部衛生組合議会ほか

認 定 議 案

- | | |
|--|---------------------------------------|
| 第1号 平成22年度留萌市各会計歳入歳出決算 | 第47号 平成23年度留萌市一般会計補正予算（第4号） |
| 第2号 平成22年度留萌市水道事業会計決算 | 第48号 平成23年度留萌市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）について |
| 第3号 平成22年度留萌市病院事業会計決算
（以上3件、決算審査特別委員会委員長報告） | 第49号 留萌市住宅改修促進助成条例制定について |
| 第16号 平成22年度留萌市の健全化判断比率について | 第50号 市道路線の廃止及び認定について |
| 第17号 平成22年度留萌市の資金不足比率について | 第51号 留萌市公平委員会委員の任命について |
| 第18号 平成22年度留萌市の一般会計に係る放棄した債権について | |
| 第19号 平成22年度留萌市水道事業会計に係る放棄した債権について | |
| 第20号 平成22年度留萌市病院事業会計に係る放棄した債権について | |
| 第21号 専決処分（損害賠償）について | |
| 第22号 専決処分（留萌市税条例の一部を改正する条例制定）について | |
| 第23号 専決処分（留萌市都市計画税条例の一部を改正する条例制定）について | |

報 告

意 見 書

- 第16号 J R 三島・貨物会社に係る税制特例の恒久化等を求める意見書
- 第17号 2012年度「公立高等学校配置計画」および「公立特別支援学校配置計画」の撤回・再考を求め、地域や子供の実態に応じた高校づくりを実現する意見書
- 第18号 電力多消費型経済からの転換を求める意見書
- 第19号 学校施設の防災機能向上のための新たな制度創設を求める意見書
- 第20号 原子力発電所における「国の防災指針」の見直しを求める意見書

決 議 案

- 第1号 第5次留萌市総合計画後期基本計画に関する特別委員会設置について
- 第2号 議会活性化推進特別委員会設置について

平成23年第3回定例会

一般質問の真意のみ
ご紹介いたします

村山ゆかり 議員
(萌芽クラブ)

問一 高区配水池の整備計画

沖見配水池改修事業が進んでいるが、沖見町六丁目に設置の高区配水池は、築造後約五十年が経過している。地震や豪雨など災害時における住宅地への影響が懸念される。維持管理通路の確保と耐震化診断の早急な実施を望むが、整備計画の前倒しは可能かお伺いします。



高区配水池

答一 高区配水池周辺は、宅地開発による旧千望台道路の

廃止によって維持管理道路が消滅。配水池だけが山の上に残された格好になっている。

配水池改修整備は、二十四年度に維持管理道路確保のための調査設計と耐震化診断を行いたい。その結果で整備の優先度を考え、住民の不安を一日も早く解消したい。

問二 留萌小学校の改築計画

留萌市立小中学校適正配置計画は、二十九年年度までに小学校三校、中学校二校に統合するというもの。統廃合についての住民理解をどう進めていくのか。留萌小学校の改築計画(案)スケジュールと基本計画及び実施設計に当たり、プロポーザル方式を導入する考えはあるのかお伺いします。

答二 統廃合に向け、保護者や地域と十分に協議を重ね、広報紙等で広く情報提供を行い、全市民的な共通理解を図りたい。留萌小改築は、二十四年度に基本・実施設計、二十五年度留小校舎・屋体建築、

沖見小解体、平成二十六年度完成予定。プロポーザル方式の導入も含め適切な方法を検討したい。

野崎 良夫 議員
(無会派)

問一 病院経営について

改革プランについて、回復期リハビリ病棟などへの方向転換の考えが示され、先の議会で改革プランの見直しに言及されたが、その策定はいつになるのか。

回復期リハビリ病棟

先の議会で、回復期リハビリ病棟は、十月開設を目指す」と答弁されていたが、あらためて開設時期とスタッフ体制について伺う。

答一 病院長答弁

改革プランの見直しは、回復期リハビリ病棟開設前に議会に示します。

回復期リハビリ病棟は、十二月開設に向けて準備しています。

問二 財政運営について

健全化計画の検証
あと六カ月で健全化計画の重点期間三カ年が終了する。今までの主要な成果と今後の課題について伺う。

答一 病院会計も順調に推移し、当初予算以上の黒字が期待でき健全化は順調に推移している。計画の見直しは市民の幸せの実現に向けたもの。改革推進委員会の意見や議会の議論も踏まえ、庁内の行財政改革本部で判断したい。



留萌小学校

野呂 照幸 議員
(民主クラブ)

問一 地域経済の活性化と雇用促進について。

留萌市の経済・雇用の現状とその課題をどう考えるか。また職員給与削減で市内の消費行動が地域経済に影響しているが、財政健全化、市立病院の単年度黒字など順調に進んでいる中、職員給与削減率の見直しはどうか考えているか。

平成23年度



看護師募集

坂本 守正 議員
(民主クラブ)

問一 「新・留萌市財政健全化計画」の進捗状況について

三年目を迎えた計画の進捗状況と市民負担・市民サービス・職員給与削減率の見直しの検討内容はどのようなもの

健全化計画の見直し

休止している市民サービスの復元や、削減している市職員給与などの見直しについて優先順位を含めて検討することであったが、その方向性を示してほしい。

答二 市長答弁

計画以上で連結実質赤字比率の解消も出来た。回復項目、回復幅など、年内に一定の方向性をつけ、国の地財計画等をふまえ、最終判断をする。

坂本 茂 議員
(無会派)



リハビリ室風景

問一 原子力発電(原発)と核廃棄物について

原発依存をやめ、再生可能エネルギー政策を進めるべきと思うが、市の取り組みは。さらに、原発から発生する

「核廃棄物」は地下三〇〇メートル以深に処分することになっているが見通しが無い。こうした中注目されるのが日本原子力研究開発機構が幌延で進めている「深地層研究」施設。「放射性廃棄物は持ち込まない」と協定しているが、周辺自治体として「協定を守れ」の声を。

答一 国のエネルギー政策を注視していく。市としての風力発電については今後も研究を続けて行く。協定書や道条例を無視することがあつてはならない。

問二 留萌小学校と沖見小学校の統廃合問題について

「耐震化改築のために統廃合ありき」にみえる。耐震化と統廃合問題はそれぞれ検討すべき課題。子どもと保護者、地域での徹底した合意が大事。また、市の「財政健全化」との整合性はあるのか。

答二 留萌小学校は震度六強の大地震に耐えられず補強も出来ない。沖見小学校も補強の必要がある。児童の安心安全のため早期建設を目指したい。統廃合を伴う改築計画にすると国の補助対象が広がる。健全化計画見直しの枠内で実施していく。



(仮称)見晴通り

燕 昌克 議員
(萌政会)

問一 再生可能エネルギーの活用について

東日本大震災後、今後のエネルギー政策を考えることは、未来の留萌の設計図を考えることでもあります。留萌市において再生可能エネルギーの活用やクリーンコール技術、LNG発電の実用化に向けた三泊地区での展開について考えをお聞かせください。

答一 今後の再生エネルギーの導入について具体的な取組みは考えていないが、国のエネルギー政策の動きを見守りながら検討したい。石炭ガス化発電は高効率かつ環境適合性のよい技術であることは認識している。しかし、三泊地区において発電施設の誘致は難しいと考えている。



上空から見た三泊地区

問二 温水プールの再開について

温水プールが休止して、二年と六ヶ月がたちました。子どもたちの体力低下が叫ばれておりますが、体力づくりと水泳の関係や温水プールの再開について考えをお聞かせください。

答二 温水プール再開の時期については健全化計画進捗状況を見ながら一定のメドがついた時点で総合的に判断する。子どもの体力向上を図るためにはプール事業再開は重要課題であり、施設運営のシミュレーションを検討し、早期再開を目指したい。

菅原千鶴子 議員
(民主クラブ)

問一 留萌市の第五次総合計画基本計画(前期)の検証について

地域産業の育成と支援について商店街の魅力に対する満足度が市民は非常に低い状態だが今後どのような取り組みをし、支援していくと考えていますか。



商店街

健康の維持と増進について

健康に関心がある人は多いが、特定健診受診率が非常に低い現状です。前期目標の五十五％は国の示す課題でありペナルティーの対象でもあります。それに対し十八・七％の現状に今後どのように取り組むお考えですか。

健康づくり計画を推進し、市民に浸透させたい。

高齢者や障がい者などが生きがいを持たず暮らしていると感じる市民割合が低い現状をどのように考えていますか。

生きがい対策を充実し、社会参加の機会の拡大を図り誰もが支えあう協働の精神の街づくりを推進していく。

対馬 真澄 議員 (萌芽クラブ)

子供の命を守る取り組みについて

沿岸部の小中学校での防災訓練はどのように行われましたか。また、老朽化した留萌小中学校で子供を守るヘルメット等の防災備品を配備する考えはありますか。

毎年地震と火災を想定した訓練を各学校で行っている。沿岸部の学校では今年津波を想定した訓練を行った。児童の防災対策は学校と相談して検討したい。



キャップ事業(留萌小)

キャップ事業の充実について

子どもがはじめ、虐待から自分を守るプログラムを中学校でも実施できませんか。

問題行動を減らす契機になると思うが、プログラム実施に必要な日程の確保等、学校と相談して検討したい。

水泳授業とぶるもの再開について

子どもにとって水泳を学ぶ事は、自分の命を守る為に必要不可欠だと思いますが、ぶるも閉鎖後はどの様に水泳授業を行っていただけますか。また、再開の見通しをお聞かせいただけますか。

留萌消防組合議会報告

八月十二日に、第三回臨時議会が開催されました。今回は補正予算として、消防施設費『緊急通信指令台無停電電源装置』の修理費用の議決をしました。

停電時においても平常時と同様の業務実施が求められる消防にとって、絶対不可欠な装置の故障に対する補正であり、早急の対応を致しました。留萌市民の安全・安心を守る消防の議会として、今後も行動を続けてまいります。

留萌南部衛生組合議会報告

八月二十八日午前十時より現在建設中の最終ごみ処分場の増毛町現地説明会が近隣地域住民を対象に行われました。

また、七月に視察を行った和寒町のごみ処分場を参考に、議員協議会の中で小平町に建設予定の消滅型生ごみ処理施設の改善について討議されました。

九月二日南部衛生組合議会において平成二十二年度決算審査ならびに平成二十三年度補正予算の審査が行われました。

私は、市議会に関心を持っているのですが、在職中は参加できず、初傍聴は退職後でした。他の地方議会で実施しているかも知れませんが土日や夜間の議会開催を検討してはと思います。また議会で1度も質問しない議員がいることに疑問を感じます。市民の代弁者として当選をしたのですから、期待に応えてほしいものです。議事の中では、市長などの答弁の中に、国や道の動きを待つことなく自治体で独自判断を示してもよいのではと思われる場面があり、今後の議会と自治体の活動に期待を寄せています。 櫻田 博 康

議会を傍聴して

単身赴任生活から十数年ぶりに留萌市に戻り、市議会の一般質問を傍聴する機会があり、各議員と理事者の活発なやりとりを見聞した。財政問題や学校の統廃合、市民負担の軽減、市職員の給与見直しなど多岐にわたり、熱心な質疑が行われたことに、各議員のマチを思う真剣な気持ちが見えていた。

多人数にわたる質問が行われることは、議員の熱意が伝わり、行政側も答弁のために各課題について、懸命に勉強することになり、ひいては市民のためになることと思う。ただ、一つ感じられたことは、質問する議員の質問内容の重複が多々あり、何とか統一して時間のムダを省くように出来ないものかと感じたことだ。会派が違えばなかなか難しいかも知れないが、重複する時間を、他の質問に回せばもっと質疑が有効に生きてくるのではないかと思う。傍聴者が少ないのは残念だが、議員はこれからも「住民の声」に身を乗り出して耳を傾け、暮らしやすいマチ作りをしてほしい。

沖村 敏 克

平成23年度北海道森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会総会開催

九月七日札幌KKRホテルで平成二十三年度「北海道森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会」総会が開催され、留萌からは野崎議員、珍田議員、坂本守正議員、菅原議員、鶴城議員、燕議員の六名が参加しました。平成二十二年活動報告、決算報告、監査報告、平成二十三年度活動計画

告、平成二十三年度活動計画(案)、予算(案)などの議題が進み総会決議が採択されました。総会后、再生可能エネルギーが注目を集める中、内閣府久保山裕史氏が「木質バイオマスエネルギー利用拡大のポイント」と題して北欧の森林バイオマスの実態など写真



を見ながら大変興味深い講演が行われました。

平成23年度北海道市議会議長会道北支部議長会議員研修会の開催について

七月二十八日に旭川グランドホテルにおいて平成二十三年度北海道市議会議長会道北支部議長会議員研修会が開催され、全国市議会議長会法制

の経費の一部として地方議会の議員に支給される費用です。学部講師の廣瀬和彦氏による「政務調査費について」の講演がありました。

留萌市議会におきましては、平成二十一年四月一日から財政事情を考慮し「政務調査費」の支給を凍結しておりますが、講演の中で全国各地の様々な判例を紹介していただき、知識を深めることができました。

議会広報特別委員会から

9月6日から第3回定例会が開会され一般質問と、決算審査特別委員会、本会議が行われ16日に閉会しました。

広報の多い8月号から留萌市議会だよりにおいて、定例会にて行われた一般質問と答弁の一部を記載しております。

これからも市民の皆様にはわかりやすくお伝えするよう努めてまいりますので、ご意見・ご感想などお気軽にお寄せください。

菅原千鶴子(委員長)・鶴城 雪子(副委員長) 天谷 孝行・川口 宏和・燕 昌克